

ワーケーション・コレクティブインパクト2022 (WCI2022)

福井県×鯖江市

テーマ：持続可能なものづくりのまちを目指して

地域課題の設定について

現状

- ・鯖江市は眼鏡、繊維、漆器をはじめとするものづくりのまちであり、RENEWを始めとした工房見学イベントを開催するなど産地の強みを活かした産業観光を推進している。
- ・また、持続可能なまちを目指して、「さばえSDGs推進センター」を拠点とし、地域住民と産学官が連携しSDGs推進に取り組んでいる。

課題

- ・コロナ禍において地域経済の落ち込みが激しく、地場産業が窮地に立たされている。
- ・アフターコロナおよび2024年北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、持続可能なまちづくりのためにも、産業の回復、新たな経済活動への施策が課題となっている。

地域課題解決に向けた今回のプログラムの位置付け

- ・今回のプログラムでは、眼鏡、繊維、漆器などの産地視察や工房見学イベントRENEWに参加していただき、地場産業の現状や課題を実際に感じてもらった上で、「新産業への転換や廃材を活用した新製品、ビジネスモデルの構築」についてのアイデアを考えていく。

今後の取組（体制）

- ・今回の参加者から出たアイデアを事業化できるかどうか検討する。
- ・課題解決のため、地域側（ローカルプレイヤー）と参加側の継続的な連携・ネットワークの構築を目指す。

(参考) 貴団体において、デジタル田園都市国家構想推進交付金、地域課題解決のためのスマートシティ推進事業、地域新MaaS創出推進事業など、国等のモデル事業を実施（予定含む）している場合は記載願います。

・

ワーケーション・コレクティブインパクト2022 (WCI2022)

福井県×鯖江市

テーマ：持続可能なものづくりのまちを目指して

日 程：2022年10月5日（水）～10月7日（金） 2泊3日

場 所：福井県鯖江市

- Day 1**
- ・オリエンテーション（さばえSDGs推進センター）
 - ・めがねミュージアム・Hana道場見学
 - ・テレワーク、アイデアソン（ラポーゼ河和田）

- Day 2**
- ・産地視察（株ワカヤマ、株シャルマン、高島リボン株、(有)内田プラスチック）
 - ・テレワーク、アイデアソン（ラポーゼ河和田）

- Day 3**
- ・RENEW散策
 - ・グループ発表（鯖江市役所）

（※）全行程のうち、少なくとも20%はテレワーク可能な時間を設けて下さい。